

## 参考様式A5(自己評価等関係)

## 公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスKiddy四日市あくらがわ			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ~ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数)	1
○従業者評価実施期間	2025年10月15日 ~ 2025年11月12日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年11月13日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様からの相談事や不安をお聞きし、スタッフで共有しながら保護者様に寄り添った返答をすることができている。	送迎時や受け入れ時に保護者様とお話をする時間を作つており、お聞きした内容は申し送り等でスタッフと共有している。	保護者の方々に気軽にご相談していただけるように日ごろから関係づくりに努めてまいります。スタッフ1人1人が送迎時に保護者の方とコミュニケーションがとれるよう信頼関係の構築に継続して努めていきます。
2	年間でいろいろな研修に参加しており、外部や社内で支援に対する知識を深めることができるようになっている。	外部の研修にも積極的に参加しており、他事業所との意見交流も行っている。事例に沿った支援へのアプローチなど学ぶようにしている。	研修で得た知識を、日頃の支援に生かせるように努めてまいります。
3	支援の内容は5領域に分けており、月に1度活動会議を開き、お子様の成長に合わせた支援ができるようにしている。	固定曜日が決まっているお子様もいるため、活動内容は曜日に偏りが出ないように配慮して振り分けている。	児発菅の意見をもとに、基礎を重点的に行う週と基礎を生かした応用の動きを意識した週に分けお子様の成長が目に見えるように活動内容を組むようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所や学童、地域の方々といった所と交流する場が少ない。	他事業所への繋がりがない。地域交流に関してはコロナ以降は交流の場も少なく参加に至っていない。	児童館や地域の公園へと出かける頻度を増やし、一般のお子様や人と関わる場を増やしていく。
2	保護者様同士の交流や地域での交流を行える場がない。	保護者様の中にはお仕事の都合でなくてもよいと考える方もいる。交流の場を作るにも時間や場所など仕事をする保護者様に負担がかかってしまうのではないかと感じる。	今年度より親子行事を開催することになった。時間や場所等で保護者様に負担がでないように日程調整等は事前にしっかりと準備をしていきます。
3	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援に関しては、知識のあるスタッフがおらず学ぶ機会がない。	ペアレント・トレーニングについての知識がなく学ぶ場がない。	提供をする、しないに問わず知識をつけるために研修等を検討する。